

10 - 22 沖縄地方とその周辺の地震活動 (2004年4月11月～2005年4月4月) Seismic Activity in and around Okinawa District (November, 2004 - April, 2005)

気象庁・沖縄気象台

Okinawa District Meteorological Observatory, JMA

今期間、沖縄地方とその周辺で M4.0 以上の地震は 6577 回、M5.0 以上は 10 回、M6.0 以上は 2 回発生した。このうち最大の地震は、国外であるが、2004 年 11 月 9 日に台湾付近で発生した M6.4 であった。2004 年 11 月～2005 年 4 月の M4.0 以上の震央分布図を第 1 図に示す。主な地震の活動は以下のとおりである。

(1) 11 月 9 日の台湾付近の地震活動① (M6.4, 最大震度 2, 第 2 図 (a))

2004 年 11 月 9 日 00 時 54 分に台湾付近の深さ 32km で M6.4 (最大震度 2) の地震が発生した。この地震の発生後、9 日 04 時 38 分に M5.5, 10 日 23 時 48 分に M5.3 の余震が発生した。この地震はフィリピン海プレートとユーラシアプレートとの境界で発生した地震で、発震機構 ((CMT ハーバード大学による CMT 解)) は、北北西—南南東方向の圧力軸を持つ逆断層型であった。

今回の地震活動があった付近では、1966 年 3 月 13 日の M7.8 の地震により、与那国島で 2 人の死者を伴うが出るなど被害が発生している。

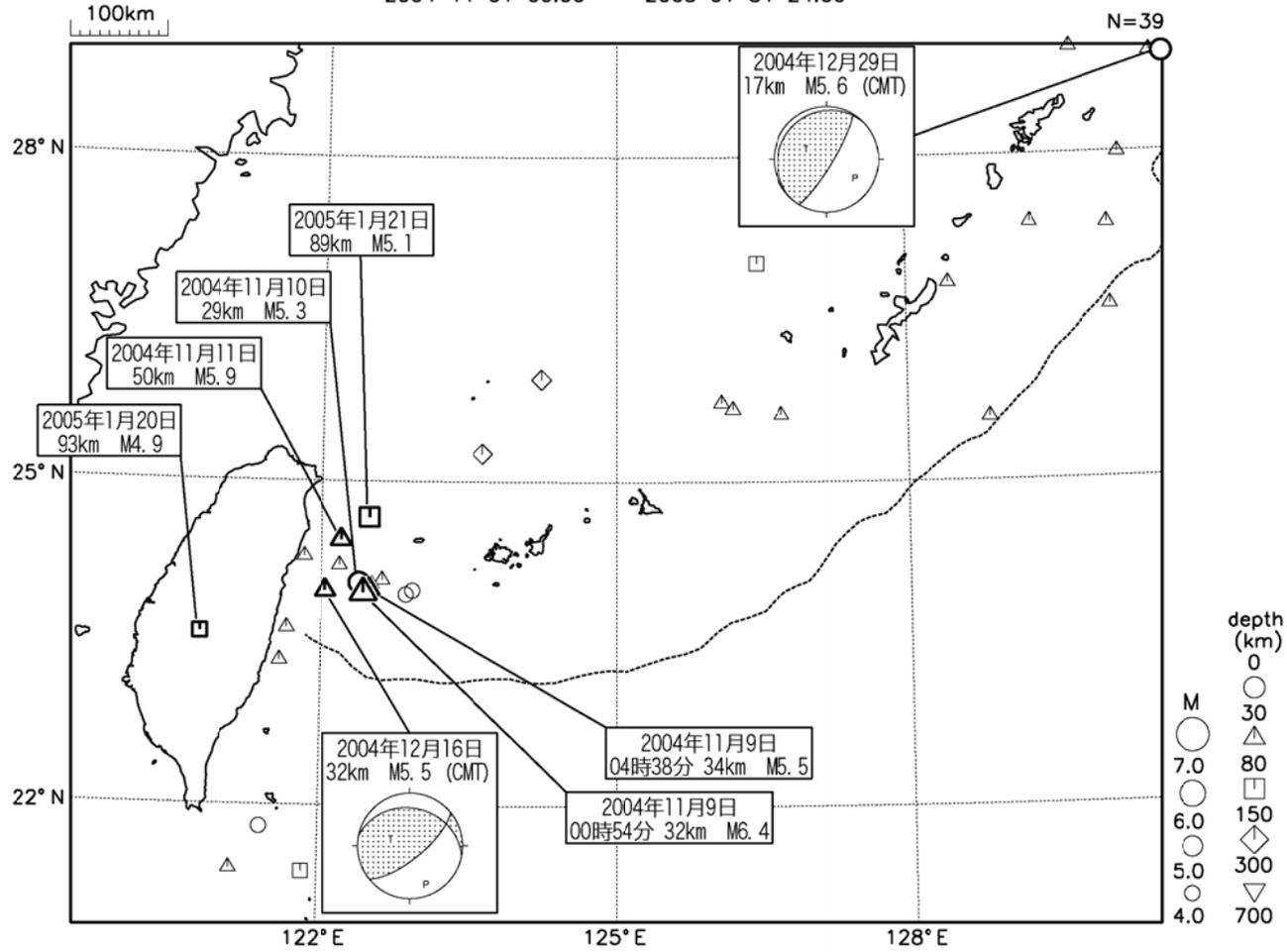
(2) 3 月 6 日の台湾付近の地震活動② (M6.2, 最大震度 2, 第 2 図 (b))

2005 年 3 月 6 日 04 時 06 分に台湾付近の深さ 41km で M6.2 (最大震度 2) の地震が発生した。04 時 08 分には、M5.7 の最大余震が発生した。04 時 06 分の地震の発震機構 (ハーバード大学による CMT 解) は、北東—南西方向の圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。USGS によると、この地震により、台湾では負傷者 2 名以上の被害がでた生じた (4 月 5 日現在)。

今回の地震活動があった付近では、2002 年 5 月 15 日に M7.0 の地震が発生し、与那国島及び黒島で震度 3 を観測している。

沖縄地方とその周辺の地震活動(2004年11月～2005年1月、 $M \geq 4.0$)

2004 11 01 00:00 -- 2005 01 31 24:00



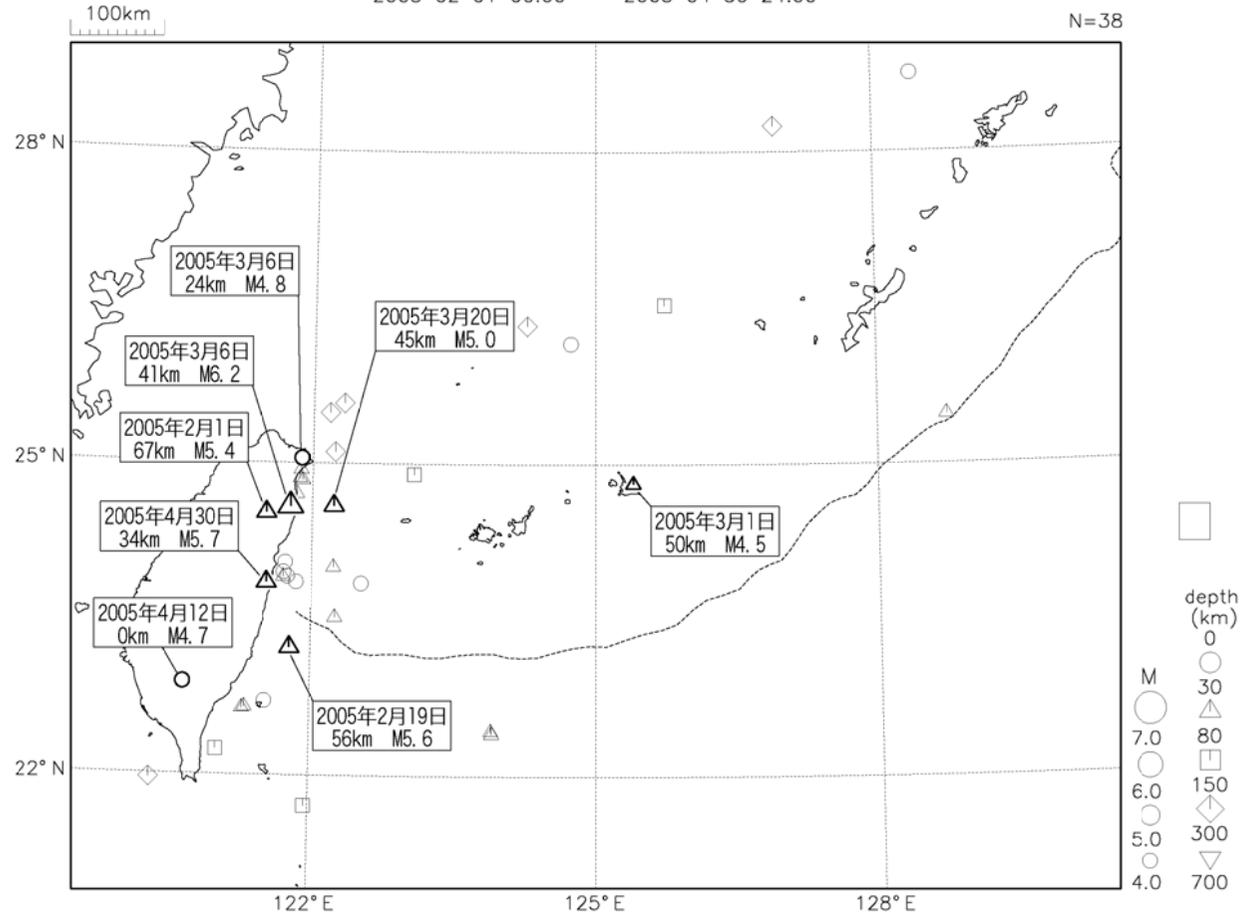
図中の吹き出しは、陸域 $M4.0$ 以上・海域 $M5.0$ 以上

第1図 (a) 沖縄地方とその周辺の地震活動(2004年11月～2005年1月、 $M \geq 4.0$ 、深さ ≤ 700 km)

Fig.1(a) Seismic Activity in and around Okinawa district (November, 2004 - January, 2005, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

沖縄地方とその周辺の地震活動 (2005年2月～2005年4月、 $M \geq 4.0$)

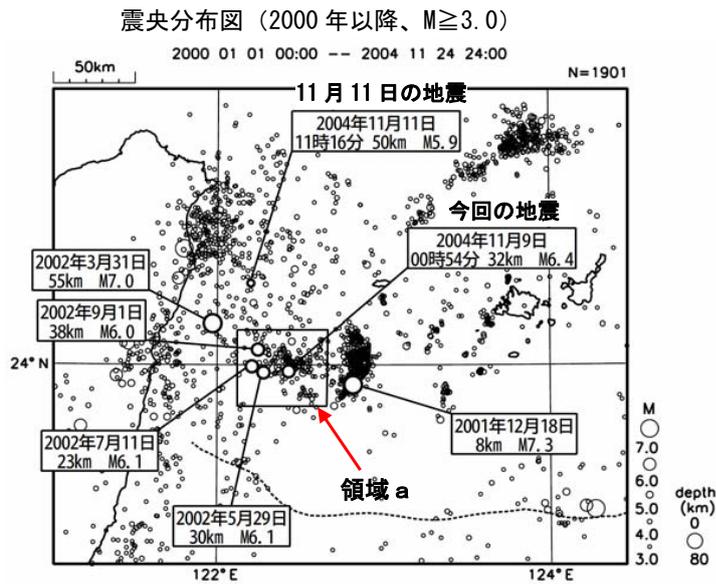
2005 02 01 00:00 -- 2005 04 30 24:00



図中の吹き出しは、陸域 $M4.0$ 以上・海域 $M5.0$ 以上

第1図 (b) つづき (2005年2月～2005年4月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)
Fig.1(b) continued (February, 2004 -April, 2005, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km)

11月9日 台湾付近の地震

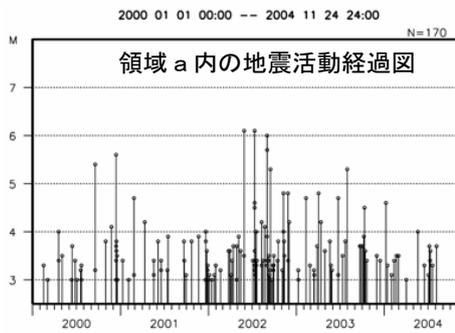


2004年11月9日00時54分に台湾付近の深さ32kmで $M6.4$ (最大震度2)の地震が発生した。この地震の後、9日04時38分に $M5.5$ 、10日23時48分に $M5.3$ の余震が発生するなど、やや活発な余震活動があった。

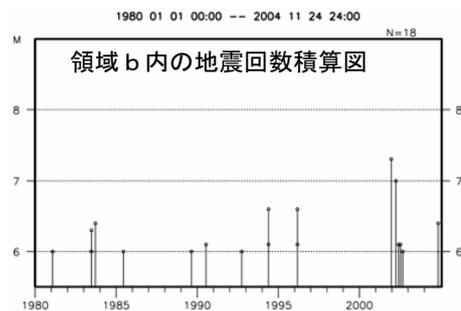
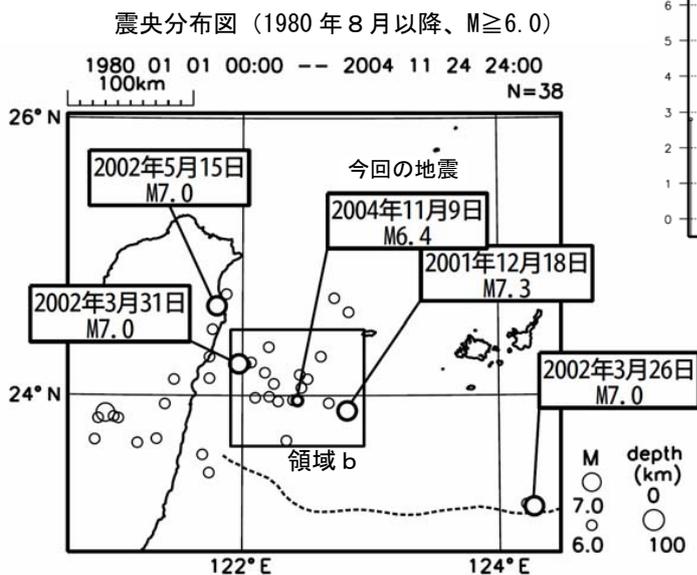
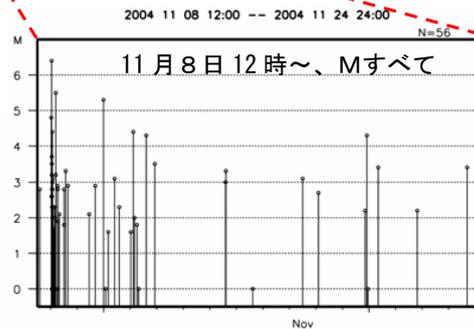
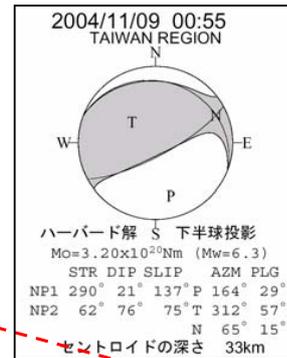
今回の地震は、クラスタ状の活動域内で発生し、この活動域では2002年に、5月29日、7月11日、9月1日と3回の $M6.0$ 以上の地震が発生している。

今回の地震の付近(領域b)には、 $M6.0$ 以上の地震が比較の数多く発生しており、1980年以降でみると、数年に1回程度の割合で発生している。

なお、11月11日11時16分にも9日の地震の震央から北北西に約60km離れたところで $M5.9$ の地震(深さ50km、最大震度2)が発生した。



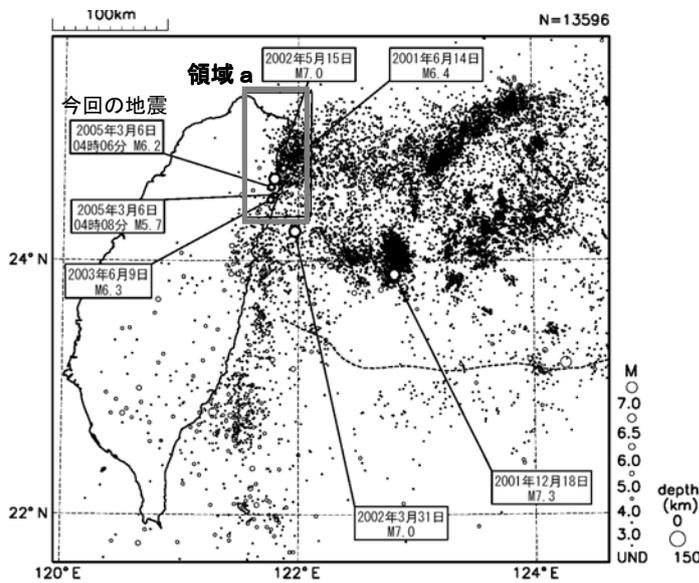
発震機構 (CMT 解: ハーバード大学)



第2図(a) 台湾付近の地震活動
Fig.2(a) Seismic activity in and around Taiwan..

3月6日 台湾付近の地震

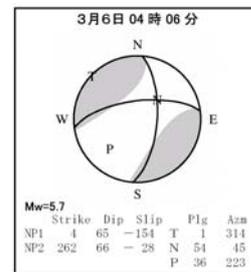
震央分布図
(2001年1月~2005年5月7日、Mすべて)



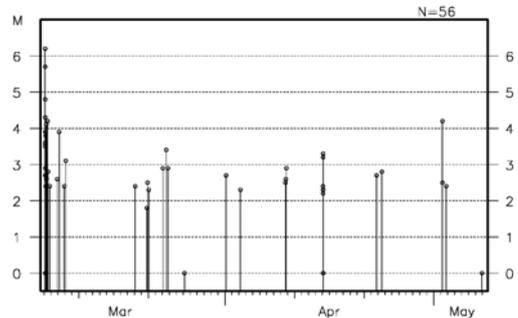
2005年3月6日04時06分に台湾付近の深さ41kmでM6.2(最大震度2)の地震が発生した。また、2分後の04時08分に、今回の地震の付近の深さ49kmでM5.7(最大震度2)の地震が発生した。

余震活動は1日でほぼ収まった。今回の地震の付近では、2002年5月15日にM7.0の地震が発生し、死者1名などの被害があった(米国地質調査所による)。

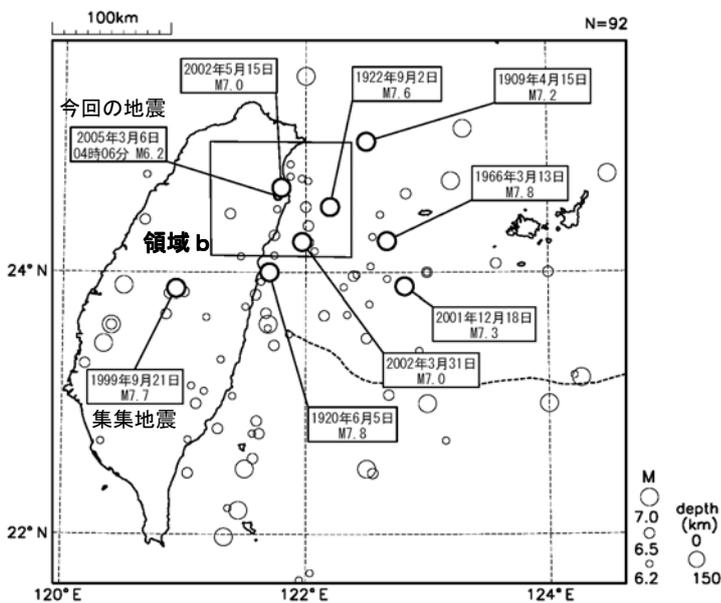
発震機構 (CMT解: ハーバード大学)



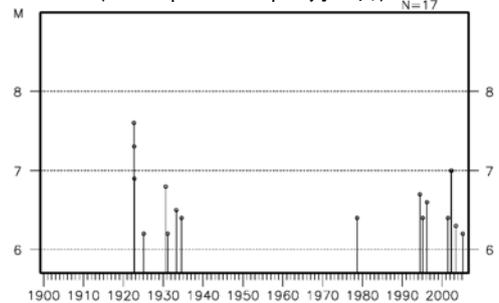
領域 a 内の地震活動経過図 (Mすべて)
(2005年3月6日~5月7日)



震央分布図
(1900年~2005年5月7日、M≥6.2)



領域 b 内の地震活動経過図 (M≥6.2)
(1900年~2005年5月7日)



第2図(b) 台湾付近の地震活動
Fig.2(b) Seismic activity in and around Taiwan..